



平成 28 年 8 月 8 日
独立行政法人国立科学博物館

世界最大の「花」ショクダイオオコンニャクが 3 度目の開花

独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園（園長 岩科 司）で、ショクダイオオコンニャクが今月中旬に開花する予定です。世界最大でめったに開かないこの花の当園での開花は 3 度目で、さらに 1 年おきに 3 回も花を咲かせることは極めて稀です。このような頻度で咲くことは、これまでに世界で 1 例しかありません。

ショクダイオオコンニャクは、スマトラ島（インドネシア）の限られた場所に生えるサトイモ科の絶滅危惧種です。花（花序＝花の集まり）は高さ 3メートル、直径 1メートルになるものもあり、世界でもっとも大きな花序をもつ植物です。また開花後は独特の強烈な悪臭を放ち世界でもっとも醜い花とも呼ばれています。

前回（平成 26 年）の開花では「ギネス世界記録」の高さ（3.1メートル、2010 年米国）にはおよびませんでしたが、今回、最大で 1 日に 22 センチメートルほど伸びているこの個体がどのくらいの高さになるか注目されます。

開花予想時期： 平成 28 年 8 月 11 日（木）～17 日（水）ごろ

特別開園時間： 開花後 3 日間 8：30～18：30
（入園は 18：00 まで。月曜日は臨時開園）

展示場所： 国立科学博物館 筑波実験植物園 熱帯雨林温室
（茨城県つくば市天久保 4-1-1）

特設ホームページ： <http://www.tbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>
（「コンニャク日記」毎日更新）

〈本件についての問合せ先〉

独立行政法人 国立科学博物館

筑波実験植物園 研究活動広報担当：福島 昇

担当研究員：堤 千絵（多様性解析・保全グループ研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL: 029-851-5159（代表） FAX: 029-853-8998

E-mail: tbjimu@kahaku.go.jp

概要

・ ショクダイオオコンニャク

和名: ショクダイオオコンニャク (燭台大蒟蒻)

学名: *Amorphophallus titanum*

科名: サトイモ科

分布: スマトラ島 (インドネシア) の熱帯雨林

花序の最大のサイズ: 高さ 3.1m (ギネス世界記録)、直径 1 m

世界最大の花ショクダイオオコンニャクの「花」は正確には花序 (花の集まり) で、例えばヒマワリの花と同じ。

ひとつの花で世界最大の植物は、ラフレシア科のラフレシア・アーノルディー

・ 筑波実験植物園での開花

開花日予測: 平成 28 年 8 月 11 日 (木) ~ 17 日 (水) ごろ

花の見ごろ: 開花日を含め 2~3 日。3 日目には花が閉じることが予想されます。

・ 栽培個体の履歴

平成 4 年 東京大学大学院理学系研究科附属植物園 (小石川植物園) で播種

平成 18 年 小石川植物園がイモを当園に譲渡

平成 24 年 3 月 16 日 定植。その後、生育・休眠を継続

平成 24 年 5 月 25 日 1 回目の開花 (花序の高さ 206cm、直径 93cm)

平成 26 年 4 月 23 日 植え替え (イモ重量 70kg、直径 66cm、厚さ 42cm)

平成 26 年 7 月 3 日 2 回目の開花 (花序の高さ 272cm、直径 108cm)

平成 28 年 7 月 6 日 植え替え (イモ重量 65kg、直径 63cm、厚さ 32cm)



ショクダイオオコンニャクのイモ
(平成 28 年 7 月 6 日時点)
イモ重量 65kg、直径 63cm、厚さ 32cm

開花後 3 日間は、開園時間を 8:30~18:30 にし (1 時間 30 分延長、入園は 18:00 まで)、月曜日にかかる場合は臨時開園して、できるだけ多くの皆さまにご覧いただけるようにします。

筑波実験植物園 特設ホームページ <http://www.tbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/> で生長の様子や開花の予想、見どころなどを紹介しています。



開花まで1日22cm生長するなど生育の様子は見応えあり
(平成28年8月8日時点) 高さ192cm

▼過去の花序の様子(平成24年)

